

Press Release

報道各位

2021年4月2日

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
公益財団法人ミモカ 美術振興財団

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 新規グループ設立のお知らせ

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（MIMOCA）は、開館30周年を迎える2021年度に「アート・コミュニケーショングループ」を設立します。開館以来、継続的に実施してきた教育普及や地域社会及び市民生活に貢献する文化活動を強化し、より多くの人に愛され、親しまれる美術館を目指すためにスタートします。

「アート・コミュニケーショングループ」では、猪熊弦一郎が大切にしていた子どもへの美術教育を軸に、芸術の場においては身体や性、職業や肩書き、国籍の垣根を超えた新たな交流を生み出し、個々の感性を育み、豊かな文化を創り出すことを目的とした事業を展開していきます。

プレス関係の皆様には、ご周知いただきたく、よろしくお願い申し上げます。



photo by Yoshiro Masuda

[お問い合わせ先]
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
公益財団法人ミモカ美術振興財団
担当：奥本末世
〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1
Tel. 0877-24-7755 Fax. 0877-24-7766
www.mimoca.org E-mail. press@mimoca.org



アート・コミュニケーショングループは、子どもを対象とした「こどもMIMOCA」と、子どもから大人まで幅広い年代を対象とした「プラスMIMOCA」の二つを柱として事業を展開します。ここでは、本年度の主要プログラムをご紹介します。

こどもMIMOCA

「子どもたちの豊かな感性と創造力を伸ばし育む」ために、年間を通して子ども向けプログラムを実施します。

“カラダで表現”ワークショップ

開館以降30年間続けてきた造形スタジオでの美術創作ワークショップに加え、さまざまなジャンルの講師のもと、パフォーマンスを通して一人ひとりの感性やコミュニケーション能力を引き出す身体表現ワークショップをスタートします。

[音楽部門] 2021年7月～9月

瀬戸フィルハーモニー交響楽団

四国初のプロオーケストラとして定期演奏会をはじめ自治体、企業などへの出張演奏や県内外の文化団体との共演など多彩な演奏活動を展開している。

特に小・中学校を訪問しての音楽教室で音楽の楽しさを体感できる企画を盛り込み、音楽人口の拡大に取り組む。



[ダンス部門] 2021年10月～12月

んまつーぽす (namstrops)

2006年に結成、逆さから物事を考えることで新たな価値を創造するダンスカンパニー。これまでに14カ国35都市（エストニア、ルーマニア、香港等）で作品を招聘・上演。

国内では、アート空間に「体育」（からだを育む思想）を展示している。宮崎市に「公立ではない公共」のコンテンポラリーダンス専用劇場（CandY）を設立（2019.3）。



[演劇部門] 2022年1月～3月実施予定

鑑賞体験のサポート

学校団体の受入や、猪熊弦一郎の作品を活用した教材の開発などを通して、子どもたちの鑑賞のサポートを行っています。またキッズパスポートを発行し、子どもたちが「来館する楽しさ」を持てるように工夫しています。詳細は当館WEBサイトをご確認ください。



プラスMIMOCA

予期せぬ困難な状況が続く時代だからこそ、MIMOCAは「心の病院」として、人々の明日への活力を与える場所として、美しいものや表現に出会うことで新しい交流と価値を見出すプログラムを提供していきます。人々の暮らしの中にMIMOCAがプラスされていくことを目指します。

開館30周年記念イベント

【開催期間】2021年11月20日（土）～23日（火・祝）※22日（月）は休館
無料開館、ミュージアムショップセール：11月20日～23日
メインイベント：11月23日

例年、開館記念日に実施していた無料開館は感染防止対策として入場制限を行います。ただし、開催期間を3日間とすることで安全な状態で多くの人を迎えることを試みます。メインイベントでは多様性を体現する世界的ダンサーを招聘し、ゲートプラザでのパフォーマンスをお披露目する予定です。また、30周年記念の特別グッズも販売予定です。MIMOCAとともに、30年の業績を振り返り、これからの30年に思いを馳せる日となることでしょう。

30周年特別企画

NHK高松放送局“かがわ 絵顔プロジェクト”

MIMOCA開館30周年を記念して、NHK高松放送局とともに特別企画“絵顔プロジェクト”を開催します。“100年に1度の危機”といわれる現代を生きる人々の想い、心の声をアートを通じて紡ぎ出すプロジェクトです。閉塞感や将来への不安を少しでも癒し、明るい未来を描くことで「アートはバイタミン」という猪熊弦一郎の意思を次世代へと繋げていきます。

「みんなの“絵顔”」募集

募集期間：2021年4月～6月

募集方法：香川県を中心に広く募集するほか

2021年6月11日（金）～13日（日）

丸亀市市民交流活動センター マルタスにてワークショップ実施

公開期間：2021年8月予定

猪熊は最愛の妻を失った空虚を埋めるために“顔”を描き始め、やがて「顔もまた抽象形態の集まり」であるとして形を追求していきました。本プロジェクトでは、猪熊と同じように、さまざまな人に心を癒す“顔”を描いてもらいます。

今の自分の顔、これからなりたい顔、大切な人の顔など自分が描きたい“顔”を集めて、いまを生きる人々の心を見つめます。集めた絵はマルタスにて展示を行うなど、さまざまな展開を予定しています。

スペシャルステージイベント

日時：2021年8月15日（日）時間未定

会場：MIMOCA ミュージアムホール

「みんなの“絵顔”」公開を記念して、NHK Eテレ「びじゅチューン！」を手がけるアーティスト井上涼氏をゲストにコンサートを開催します。



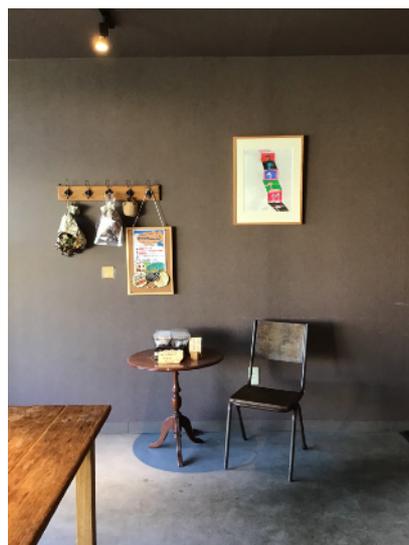
出演：井上涼

※募集などの詳細は、NHK高松放送局のホームページにて後日発表

いのくまさんのスケッチブック アートはバイタミン

開催期間：2021年11月～2024年3月予定

猪熊弦一郎がスケッチブックに描いた作品の複製画を丸亀市内の商店や飲食店などに展示する企画の第3弾。第1弾では色彩豊かなもの、第2弾では「顔」「鳥」「犬」「いろいろな形」をテーマに選び展示しています。第3弾では今までと違ったテーマの作品を選びます。また、第3弾では作品展示を希望する店舗を公募制にて募ります。スケッチブックを通して、猪熊の“アートはバイタミン”という考え方を伝えていきます。



複製画展示風景

まちのシュール963 プロデュース MIMOCAマルシェ

日時：2021年5月3日（月・祝）
10:00-16:00 ※商品無くなり次第終了
会場：MIMOCA ゲートプラザ

カフェMIMOCAを運営している“まちのシュール”監修によるマルシェを開催します。地元・香川の食品や雑貨を販売するお店を集めます。DJブースも設置して心地よい音楽と食、空間を楽しんでもらえます。



過去のマルシェの様子

2021年度展覧会情報

「猪熊弦一郎展 いのくまさんとニューヨーク散歩」
会期：2021年6月19日（土）～9月5日（日）

「藤島武二と猪熊弦一郎展（仮称）」
会期：2021年9月18日（土）～12月5日（日）

「地方都市の現在 丸亀の場合（仮称）」
会期：2021年12月18日（土）～2022年3月21日（月・祝）

※常設展は企画展の会期にあわせて開催

【注】

新型コロナウイルス感染症の拡大など社会情勢に応じて内容の変更および中止する可能性もございますので、予めご了承ください。